

vol.49—2025.3.30—

メルマガ読者の皆様、こんにちは！

いよいよ3月も終わりを迎えますが、今週は気温も上がり全国的に暖かい日が続き、桜も大分咲き始めました。一方で、乾燥や強風などにより愛媛県今治市や岡山市などでは山林火災が続いていましたが雨が降ったことで漸く鎮圧されたようですが、今後も見守っていきたいものです。

Topics

- 【1】第7回人権問題エッセイコンテスト審査結果発表
- 【2】「乳腺外科医 検察上告を断念し、無罪確定！」
- 【3】サヘル・ローズ氏講演会 子どもと親を救う会プロジェクト 児童虐待問題を共に考える PartIII
- 【4】新書籍「エッセイコンテスト受賞作品集」絶賛発売中！

【1】第7回人権問題エッセイコンテスト審査結果発表

今回は基準点をはるかに上回る優秀な作品ばかりであったため、規定より優秀賞を若干多めに選出することとなり、厳正なる審査の結果、次の方々が受賞されました。おめでとうございます！ホームページもご参照ください。

[審査結果発表はこちら](#)

- 最優秀賞 『境界を超える勇気と共生の道 (LGBTQ)』みわ (ペンネーム) 様 46歳 北海道札幌市
- 優秀賞 『就労継続支援と出会って』ユリカ (ペンネーム) 様 24歳 沖縄県沖縄市
- 優秀賞 『視覚障がい者を通して知った「障がい」について』蒼い月 (ペンネーム) 様 26歳 京都府京田辺市
- 優秀賞 『言葉とは生きる権利——外国にルーツを持つ子どもたちの人権を守るために』渡部 理人様 14歳 名古屋国際中学校3年 岐阜県大垣市
- 佳作 『教育を受ける権利とインクルーシブ教育の未来を考える』みずの (ペンネーム) 様 39歳 北海道札幌市
- 佳作 『障害児の教育を受ける権利』オーガンバト・フスレン 21歳 名古屋大学3年 名古屋市東区
- 佳作 『魚鱗症から人権問題に切り込む』きのみ (ペンネーム) 様 27歳 滋賀県大津市
- 審査員特別賞『全ての人が生きていく権利を行使できる世界へ～貧困の現実から私が考えたこと』村井 愛理 様 17歳 北陸学院高等学校2年 石川県金沢市

以上、8名の方々です。受賞者には4月中に懸賞金及び表彰状が授与され、審査委員の講評と共にご本人に直接発送されます。

審査に関するお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。

尚、今回惜しくも受賞を逃した方々の中には優勝候補に上がっていた作品もありましたが、規定外の作品であったため大変残念ながら受賞を逃してしまいました。次回より応募要項の注意点を良く読んでからご応募ください。

【2】「乳腺外科医 検察上告を断念し、無罪確定！」

3月25日に検察が上告を断念し、関根進外科医師の無罪が確定致しました！

多くの皆様に「上告を断念せよ」の署名に迅速にご協力いただきありがとうございました。

今回の問題は、「準強制わいせつ罪」に問われた事件でしたが、術後せん妄（麻酔覚醒時せん妄）という複雑な問題が絡む事件であっただけに解決までに難航し、関根医師は不利な状況に置かれました。

「せん妄」も色々な種類があり、年齢に関係なく、子どもから高齢者まで出現することがあることを先ずは認識しておきましょう。医師ですらせん妄について熟知していない方がおられます。そのため、今後も同じような事件が起きないように、医療や司法、福祉従事者は「せん妄」について更なる研修に励み、患者（施設利用者）と家族などに対する事前説明及び誘因となる準備因子や促進因子などをなるべく遠ざける工夫や調整などを怠らないようにしていただくことを願います。それが関根医師が語っておられた「医療者側も患者側も守られる仕組みづくり」の一助になることでしょう。

更に大きな問題だったのは、警察・検察や科捜研による鑑定試料の廃棄、科学的データの改ざん、捏造があったことで、最低限の科学性を有しない、信頼性のない証拠を平気で提出していたにもかかわらず二審で有罪判決になったことです。これも、関根医師が語っておられたように「一度決めたら振り返り修正することのない組織」で、特に検察は、事実がどうであろうと容疑者を犯罪者に仕立て上げる詐欺師のようなことをしていることが改めて判り、善良な市民にとっては恐ろしさを感じました。マスコミはこういうことこそもっと大きく取り上げるべきでしょう。

「外科医師を守る会」からも以下のようなメッセージが届いております。

長き期間にわたり、ご支援、ご協力ありがとうございました。

すでに、報道などご存じだと思いますが、正式には、昨日、主任弁護人から「高裁書記官より、検察官から上告放棄申立てが出たとの連絡があった」との報告が入りました。

差し戻し審判決以来、短期間のうちに上告断念をもとめる署名は1万を超えて寄せられました。また多くの方が、検察へ直接ファックスや電報を送付されました。

これにて、外科医師の無罪は確定しました。約9年に渡るご本人とご家族のご心痛を思うと心が痛みますが、無罪となったことを心より喜び合いたいと思います。これから会としての声明などを作成し、改めてご報告を差し上げます。

これまでご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

外科医師を守る会

◆◆◆
【3】新6/14（土）サヘル・ローズ氏講演会 『児童虐待問題を共に考える PartⅢ』のご案内
皆様のご参加をお待ちしています！

【講師】サヘル・ローズ氏（俳優、タレント）

【演題】「里親や養子縁組で大切なこと～血が繋がってなくても大切な[かぞく]～」

イラン・イラク戦争のさなかに4歳で孤児となったサヘル・ローズさん。

孤児院で7歳まで過ごし、その後施設を訪れたフローラさんに引き取られ、二人で渡日。しかし、虐待、人種差別や貧困生活などを強いられる壮絶な体験をされました。そのサヘルさんの語る養親との関係性などを通して、生きやすい社会とは何か、そして、「かぞく」とは何かについて共に考えます。

【申込】下記いずれかのサイトからお申し込みください。

① Peatix からからの申し込みは[こちら](#)

② LivePocket からのお申し込みは[こちら](#)

③ 当協議会への銀行振込は[こちら](#)よりお申し込みください。

（当日の現金での受付は致しません。キャンセルは7日前まで可。その後はご返金致しかねますのでご了承下さい。7日前でも参加者のご都合によるキャンセルはご返金対象外です。）

※その他詳細はホームページの「イベント案内」をご覧ください。

<https://www.humanrights-ra.com/event>

